

# 今、なぜ中核病院が必要なのか ご存知ですか、萩の医療の現状を

## 現状と課題 萩医療圏の医療提供体制 萩医療圏には回復期の機能が不足

もし、大きなけがをしたり、重い病気になったら、症状などにより受ける医療の段階として、

- ①今すぐに必要な治療や手術などを行う「急性期」
  - ②日常生活に戻るため心身の回復を図る「回復期」
  - ③在宅などで長期的な療養を行う「慢性期」
- に分かれます。

現在、萩医療圏において、急性期は主に萩市民病院や都志見病院が、慢性期は民間の医療機関や福祉事業者が担っています。

しかし、その間の回復期の機能が不足しており、市外の病院を利用せざるを得ないなどの課題があります。



○回復期の機能とは

回復期機能には「地域包括ケア病棟」と「回復期リハビリテーション病棟」があります。

### 萩医療圏の回復期機能

- 現在の回復期病床数
  - ・地域包括ケア病床：57床（都志見病院）
  - ・リハビリテーション病床：0床

○2025年に必要となる病床数：181床（両方合わせて）

（山口県地域医療構想より）

### ○地域包括ケア病棟

病状が改善した患者さんの心身の回復や在宅復帰に向けて、主治医や看護師、ソーシャルワーカーなどが連携して、治療や支援を行うための病棟

※自宅療養中の患者さんの状態が悪くなった時の入院や、お世話する家族の方の休養のための一時入院も可能です。

### ○回復期リハビリテーション病棟

脳梗塞や事故による大けがなどで治療を受けた患者さんに、状態が安定した頃に専門的・集中的なリハビリを行い、低下した身体機能を回復するための病棟

## 課題解決に向けて

急性期の医療を終えた後も、家族の支援や住宅の改修等が必要な場合など、すぐに在宅復帰ができない患者さんがいます。回復期機能が不足したままでは、市外の病院へ転院しなければならないこともあります。これは患者さんだけでなく、サポートする家族にも大きな負担となってきます。

そのため、市民の皆さんが安心して、切れ目のない医療を受けられるよう、回復期機能の確保等、中核病院づくりに向けた協議の中で検討していきます。

問中核病院形成推進室 ☎ 21-3120

## 意欲のある介護職のみなさんを応援します！

市では、介護業務に従事する（予定のある）方の資格取得費用、または研修受講費用の一部を助成します。

### ■対象となる要件全てを満たす方

- ・市税等の滞納がない
- ・市内の介護サービス事業所等に勤務する職員、または入職予定の方
- ・資格取得、研修終了後、市内の介護サービス事業所等に12カ月以上勤務する意思がある
- ・他の類似する助成金等を受給していない

### ■対象経費

入学科、受講料、教材費、修了試験受験料、国家試験受験料

対象となる研修・試験	助成限度額
介護職員初任者研修	50,000円
介護福祉士実務者研修	80,000円
介護福祉士国家試験	15,000円

### ■申請方法

申請書、印鑑、本人確認ができる物、受講の内容等を明らかにする書類、介護福祉士国家試験受験申込書の写し、住所地において市税等の滞納がないことが分かる書類（市外居住者）、誓約書兼同意書等

※申請書等は、市HPに掲載

■申請先 高齢者支援課、各総合事務所市民窓口部門、支所、出張所

問高齢者支援課 ☎ 25-3137

